



一般社団法人
カメラ映像機器工業会
Camera & Imaging Products Association
〒108-0023 東京都港区芝浦 3-8-10 MA 芝浦ビル 3階
TEL. (03) 5442-4800 (代表)

PRESS RELEASE

2017年2月1日

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA)

2017年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会 (CIPA: 代表理事会長 笹宏行) は、このほど2017年カメラ等品目別出荷見通しをまとめた。

1. 2016年出荷実績

総出荷は対前年比 68.3%、「レンズ交換式」の構成比は 48%に拡大。

2016年(1~12月累計)のデジタルカメラ総出荷実績は2千420万台、対前年比68.3%となった。

1999年の統計開始以来、2007年に1億台を突破するなど右肩上がり推移したが、世界的な景気後退の影響を受けた2009年に初めて減少、2010年は増加に転じたものの2011年は東日本大震災やタイ国洪水により深刻な打撃を受けて再び減少、これ以降も減少が続いており、2016年は前年の3割以上減という結果に終わった。

2016年4月の熊本地震はデジタルカメラ主要部品大手の工場を直撃して一時操業停止の事態に至らしめるなど、その影響は決して軽微なものではなかった。

しかしながら、当該部品の供給が再開し始めた秋以降の実績では顕著な回復傾向を示しており、こうした基調を引き継ぐ2017年は当業界にとってリベンジを期す年、年初のスタートダッシュから決して力を緩めることの出来ない年と位置付けられる。

総出荷数量としては減少を続ける中であって、品目別構成比では、高付加価値・高単価商材である「レンズ交換式デジタルカメラ」が2013年27%、2014年32%、2015年37%と勢力を拡大、2016年は5割に肉薄する48%に至り、産業構造の転換が進んでいる。

レンズ交換式デジタルカメラは対前年比 88.9%。

「レンズ一体型デジタルカメラ」(いわゆるコンパクトデジタルカメラ)は1千260万台、対前年比56.3%となった。

極めて低調な実績に終わったが、熊本地震の影響を考慮するなら実力値と言い切ることは出

来ず、今春以降の各社新製品等展開に期待を繋ぐ。

「レンズ交換式デジタルカメラ」は1千160万台、対前年比88.9%となった。

熊本地震直後は対前年比7割程度に低迷したが、秋から9割代、年末に掛けて2ケタアップと勢いを取り戻し、年間計でも対前年比9割を窺う水準に至った。

地域別では、「レンズ一体型デジタルカメラ」「日本向け」が68.4%、同「日本向け以外」が54.2%、「レンズ交換式デジタルカメラ」「日本向け」が78.8%、「日本向け以外」が90.4%。「レンズ交換式デジタルカメラ」の「日本向け以外」が復調をリードする。

「レンズ一体型デジタルカメラ」がスマートフォンとの苛烈な競合に晒される中、スマートフォンと一線を画す高画質、個性豊かな交換レンズとの組み合わせで自在な表現力を発揮する「レンズ交換式デジタルカメラ」は底堅い。

その一方で、スマートフォンに関して、華々しい躍進を遂げた時期とは異なる様相の統計もさまざまな形で公表されており、真正カメラたる「レンズ一体型デジタルカメラ」に追い風と働くか、同品目の動向も期待を込めて注視したい。

同品目には、360度パノラマ/VRカメラ、防水アクションカム、高倍率ズーム搭載カメラといったスマートフォンの上を行く楽しさを提案する機種群が次々投じられている。

交換レンズ対前年比は88.6%。

「レンズ交換式デジタルカメラ」は、それ自体が高付加価値商材であると同時に交換レンズとの組み合わせで総合力を発揮するシステム商材である。

「レンズ交換式カメラ用レンズ」は1千920万本、対前年比88.6%。

対を為すボディ側、「レンズ交換式デジタルカメラ」の生産の低迷とのリンクを免れることは出来なかったが、ボディ側に対して1.6~1.7倍のスケールを誇る以前からの傾向は堅持した。

2. 2017年出荷見通し

2017年(1~12月累計)のデジタルカメラ総出荷は、2千170万台、対前年比89.7%と見通した。

品目別では、「レンズ一体型デジタルカメラ」は1千50万台、対前年比83.3%、内「日本向け」が180万台、81.8%、「日本向け以外」が870万台、84.5%、「レンズ交換式デジタルカメラ」は1千120万台、96.6%、内「日本向け」が120万台、92.3%、「日本向け以外」が1千万台、97.1%と見通した。

「レンズ交換式カメラ用レンズ」は、1千800万本、対前年比93.8%、内「日本向け」が230

万本、92.0%、「日本向け以外」が1千570万本、94.0%と見通した。

スマートフォンで写真に目覚めてデジタルカメラを買い求めるステップアップ需要のほか、既存のデジタルカメラユーザーが更に上位のデジタルカメラに買い替える・買い増すもう一つのステップアップ需要への期待が依然高く、「レンズ一体型デジタルカメラ」に対して「レンズ交換式デジタルカメラ」がより堅調に推移することを見通した。

以上

2017年カメラ等品目別出荷見通し

一般社団法人カメラ映像機器工業会

単位: 十万台(レンズは十万本)

品目	総出荷											
					日本向け				日本向け以外			
	2016年実績	前年比	2017年見通し	前年比	2016年実績	前年比	2017年見通し	前年比	2016年実績	前年比	2017年見通し	前年比
デジタルカメラ<合計>	242	68.3%	217	89.7%	35	71.9%	30	85.7%	207	67.8%	187	90.3%
レンズ一体型	126	56.3%	105	83.3%	22	68.4%	18	81.8%	103	54.2%	87	84.5%
レンズ交換式	116	88.9%	112	96.6%	13	78.8%	12	92.3%	103	90.4%	100	97.1%
レンズ交換式カメラ用 レンズ	192	88.6%	180	93.8%	25	79.0%	23	92.0%	167	90.2%	157	94.0%

注: 数値のうち四捨五入により計算の合わないものがある。

この件に関する問い合わせ先：
 一般社団法人カメラ映像機器工業会
 E-mail : infostat@cipa.jp
 URL : <http://www.cipa.jp/>